

特集 GBR や CTG はもういない 最新インプラント審美補綴はこれだ!

4S-concept に基づいた審美領域のインプラント治療

林 揚春

審美領域におけるインプラント治療の審美性を高めようと GBR や CTG が行われているが、それらの併用は治療期間を長引かせるだけでなく、必要としない症例も数多く存在することを認識して欲しい。

インプラント治療においては、骨や粘膜の自然治癒能力や再生能力を最大限に利用することが予知性を高めることになり、再介入も容易となる。そしてそうすることで治療がよりシンプルになり、患者主導の低侵襲で短期間のインプラント治療が可能になると考えている。(本文より一部抜粋)



インプラント
ジャーナル 94号



編集・出版：ゼニス出版
定価：4,730 円
(4,300 円 + 税 10%)



HP では本誌の内容が
立ち読みできます。

Other contents

不正咬合の診断と対応 鈴木 光雄

若年者の先天性欠如による不正咬合に対する
矯正およびインプラントの総合治療

咬合の科学 シリーズ連載 船木 弘 + 吉野 晃 + 大竹 祐輔 + 佐竹 一貴

咬合を紐解く 第 6 回 下顎位 - 垂直的顎位と水平的顎位 -

上顎洞炎のリカバリー 水口 稔之 + 根岸 清英 + 泉田 弘太

当施設における上顎洞洗浄のプロトコル

臨床研究 林 俊輔

有限要素法解析からの考察その④
イメージ通りの位置にインプラントを植立するための
ドリリングワークについて

販売 歯学書専門店



デンタルブックセンター
株式会社 シエン社

〒112-0004 東京都文京区後楽1-1-10 日本生命水道橋ビル1F
TEL 03-3816-7818 FAX 03-3818-0837 <https://www.shien.co.jp>

デンタルブックセンター

検索